かわ

2026.4.1
vol.269

Contents

風水害から自らの命を守るために・・・P1～P2
第２回災害復旧実務講習会・・・・・・・・・P3
河川功労者表彰・・・・・・・・・・・・・・P4
河川事業現地研修会・・・・・・・・・P5～P6
川の思い出・・・・・・・・・・・・・P7～P8
ふくおかの身近な川といきものを知ろう
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9～P10
河川協会からのお知らせ・・・・・・・・・P11

風水害から自らの命を守るために
ー自助行動のすすめー

桂川（朝倉市）
平成29年7月九州北部豪雨

久留米市田主丸町
令和5年7月梅雨前線豪雨

伊勢湾台風（昭和34年）

東日本大震災（平成23年）

出典：中部地方整備局 伊勢湾台風災害写真データベース
東北地方整備局 震災伝承館

早めの避難行動をお願いします

避難するときのポイント

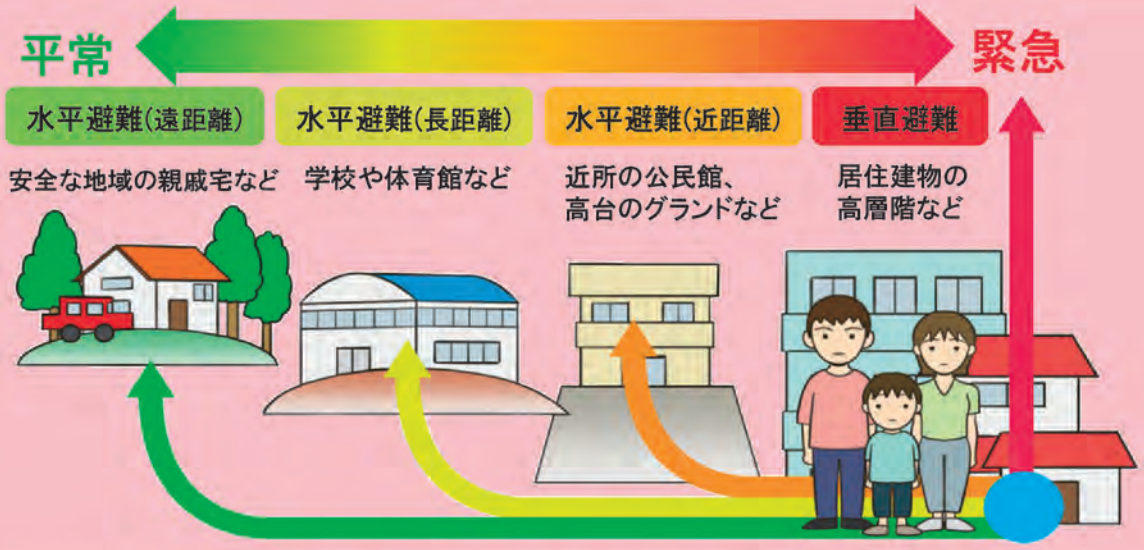
- 危険と判断したらすぐに避難を！
- お年寄り、妊婦、小さい子どもがいる場合は、早めの避難を！
- 夜の移動は危険 早めの避難を！
- 車より、できるだけ歩いて避難を！
- 外に避難できない場合は、屋内の上の階かつ斜面から遠い部屋へ緊急避難を！

水平避難と垂直避難

避難行動には、
①水平避難・②垂直避難があります。
避難の際は、状況に応じて適切な避難行動を！

①水平避難（立退き避難）：その場を立退き、近隣の安全な場所に一時的に避難

②垂直避難（屋内安全確保）：切迫した状況で、屋内の2階以上に避難



こまめに避難情報や気象情報を収取し、早めの避難に心掛けましょう！

防災情報の入手方法を確認しましょう

福岡県総合防災情報

状況に応じた活用を！

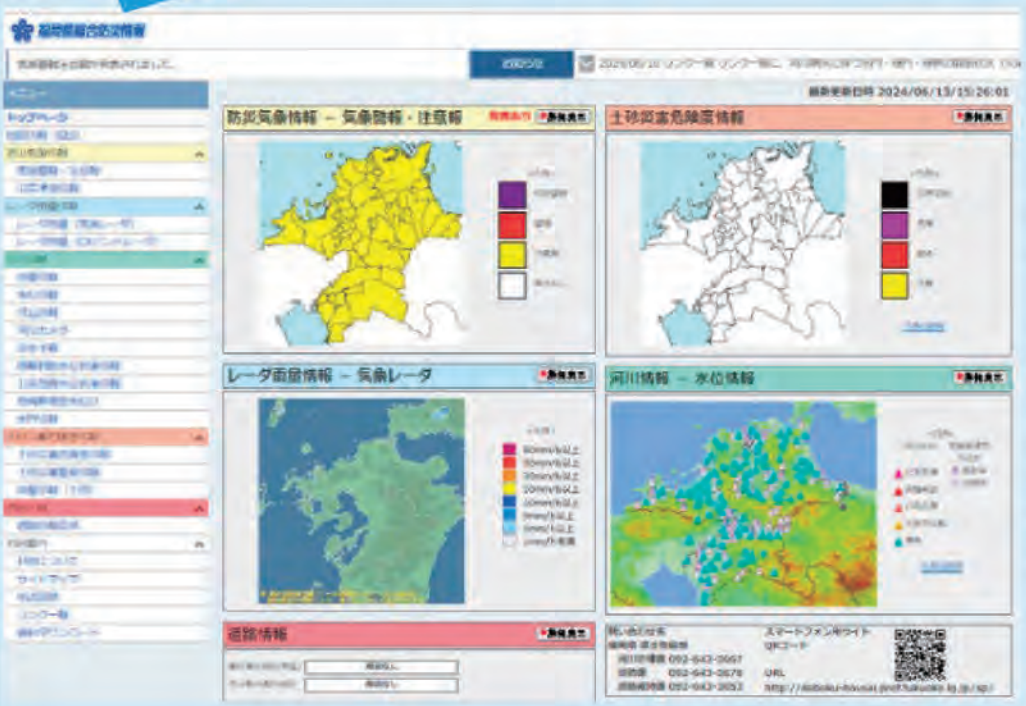
河川の水位、土砂災害危険度、道路の通行規制などの情報を確認できます。

パソコン版
より詳細な情報を収集できる

福岡県総合防災情報	検　索

スマートフォン版
手軽に情報を収集できる

スマホ版　二次元バーコード



ふくおか防災ナビ・まもるくん

様々な防災情報をお知らせします。

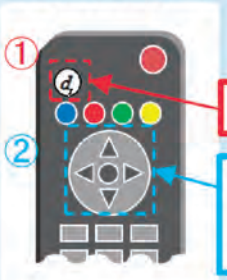
福岡県

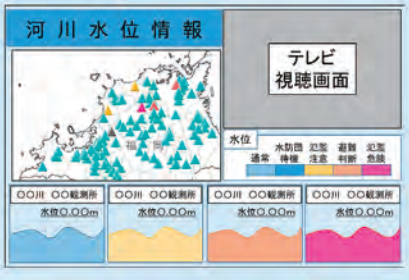
＼＼ 防災情報は生活必需品！ぜひ登録を！ ／／

ダウンロード用
二次元バーコード

地デジの水位・雨量情報

テレビの地上デジタル放送でも、
河川の水位や雨量を確認できます。





防災情報の入手方法を確認し、災害時の避難行動などに活用しましょう！

令和７年度

福岡県災害復旧実務講習会（第２回）の報告

日時 令和７年12月22日（月）10:00 ～ 16:45　**場所** 福岡県中小企業振興センター　301会議室

令和７年度福岡県災害復旧実務講習会（第２回）（主催：福岡県河川協会）を開催し、県土整備事務所及び県内市町村から７１名の方にご参加いただきました。

本講習会では、令和７年の災害査定を振り返り、今年の申請時に特に指摘の多かった事項の共有や、今後の災害復旧における留意点等について説明を行いました。

外部講師として、国土交通省九州地方整備局の矢羽田課長補佐から、「災害査定現場からの査定官情報」と題してご講義いただきました。申請替えや失格・欠格等の過去の申請事例について、当時の三者合意に至るまでの経緯を交え説明いただいたことで、申請のポイントが伝わる有意義な内容でした。

また、同じく国土交通省九州地方整備局の弓削河川保全官からは、「河川メンテナンス」と題し、河川工作物の被災要因と施設のメンテナンスについて事例を交えて紹介いただきました。国の災害事例を基に被災メカニズムの解説に加え、平時にどのような視点で管理を行うかをご講義いただき、河川管理者として大変参考になる内容でした。

次回の講習会も、参加者の皆様にとって有意義な講習会となるよう企画してまいりますので、今後も多くの方のご参加をお待ちしております。

令和７年度福岡県災害復旧実務講習会（第２回）プログラム

1. 開会挨拶
2. 令和７年災害査定の総括
3. 災害復旧事業費の国庫負担金交付申請手続きと精算・成功認定等について
4. 災害復旧事業の繰越手続きについて
5. 災害復旧事業に関する留意事項
6. 災害復旧事業の設計変更と合併・合冊について
7. 道路災害復旧の留意点について
8. 河川災害復旧の留意点について
9. 砂防災害復旧の留意点について
10. 都市災害復旧事業等について
11. 下水道の災害復旧について
12. 災害査定現場からの査定官情報
13. 河川メンテナンス

アンケートに寄せられた声

- 野帳作成のアドバイスが分かりやすかった。
- 実務的な内容で充実していた。
- 過去の災害事例等を用いて説明されたのでわかりやすくてよかった。
- 災害査定官からの指摘事項がわかり参考になった。
- 災害復旧に対しての意欲と関心が深まった。
- 災害が起きた時の一連の流れを理解した。

講習会の様子

国土交通省　九州地方整備局　災害マネジメント室　矢羽田課長補佐

国土交通省　九州地方整備局　河川部　河川管理課　弓削河川保全官

「ふくおか みちとみずべの功労者表彰」表彰式

令和８年１月３０日(金)、福岡リーセントホテルにおいて、「ふくおか みちとみずべの功労者表彰」の表彰式が行われました。

「ふくおか みちとみずべの功労者表彰」とは、これまで道路・河川・海岸で個別に実施してきた、ボランティア団体などの皆さまへ向けた表彰を、一体的に、かつ福岡県知事から直接行うよう改めたものです。

初開催となる令和７年度に受賞された河川の功労者は、２６団体の皆さまでした。

受賞者一覧

市町村	団体名	河川名
福岡市	油山川を守る会	油山川
小郡市	第一思案橋川を美しくする会	思案橋川
大刀洗町	下高橋大刀洗川を守る会	大刀洗川
みやま市	大根川西清水地区川を守る会	大根川
大川市	九町内を美しくする会	花宗川 新橋川
宮若市	進興地区犬鳴川を守る会	犬鳴川
みやこ町	柳瀬区今川を守る会	今川
みやこ町	上高屋高屋川を守る会	高屋川
行橋市	天生田区今川河川を守る会	今川
行橋市	江尻川を守る会（柳井田区）	江尻川
行橋市	門樋上町区新生町区今川を守る会	今川
行橋市	今川を守る会（桜会）	今川
行橋市	南川会一班	今川
行橋市	南川会二班	今川
行橋市	南川会三班	今川
行橋市	新生町今川河川を守る会	今川
みやこ町	陽の里区郷土の自然と今川及び喜多良川を愛護する会	今川・ 喜多良川
筑前町	篠隈地区県営河川を守る会	曽根田川
筑前町	丸町地区県営河川を守る会	天神川
筑前町	下高場地区県営河川を守る会	草場川
北九州市	祝町ふるさとの川を守る会	板櫃川
宗像市	朝町川を守る会	朝町川
太宰府市	大佐野川を愛する会	大佐野川
筑紫野市	美咲まちづくり運営委員会	宝満川
筑紫野市	筑紫駅前通宝満川を守る会	宝満川
福岡市	那珂川を美しく・まもる会	那珂川

河川事業現地研修会に参加して

八女市役所　建設課　主事　渡辺 雅也

令和7年11月20日から21日にかけて開催された「令和7年度河川事業現地研修会」に参加いたしました。

本研修では、1日目に愛知県幸田町の広田川河川整備計画に関連する「占部川遊水地」および「菱池遊水地」を、2日目には三重県の「長良川河口堰（水資源機構揖斐川・長良川総合管理所）」を視察し、各担当職員より詳細な説明を受けました。

調整池の整備を検討している本市にとって、特に1日目の視察内容は示唆に富むものであったため、本稿では占部川および広田川（菱池遊水地）の事例について報告いたします。

1．事業の背景

占部川および広田川は、平成20年8月末豪雨において総雨量447.5mmを記録し、溢水・内水氾濫や破堤によって甚大な浸水被害をもたらしました。これを受け、国による「床上浸水対策特別緊急事業」が採択され、概ね1/10確率規模の降雨に対応する河道拡幅、橋梁改築、遊水地整備が進められています。特に菱池遊水地は、大規模特定河川事業として下流の河道改修と一体的に整備効果を高めるため、総事業費57億5,000万円を投じて整備が進められています。

2．占部川下流遊水地：防災と地域活性化の両立

占部川では、原野であった約3.8haの土地を遊水地として活用する現場を視察しました。河道改修と遊水地整備の相乗効果で浸水リスクが低減した結果、周辺では区画整理による開発が進展しているとのことでした。

単なる浸水対策にとどまらず、地域の活性化にも寄与している点は、今後本市で事業を進める上で重要な視点であると感じました。

3．菱池遊水地：多目的な空間利用の実現

続いて、令和8年度の完成を目指す広田川の菱池遊水地（約24ha）を視察しました。本市で整備した調節池と比較すると約13倍もの広大な面積を有しており、その事業規模の大きさに圧倒されました。

特に印象的だったのは、平常時の空間利用です。敷地内を「CN（カーボンニュートラル）ゾーン」「公園ゾーン」「自然環境ゾーン」等にゾーニングし、地域のニーズを踏まえた整備が行われています。本市においても、過去に調節池の上部利用に関する要望がありながら、維持管理の課題から断念した経緯があります。それだけに、課題を乗り越え計画が具現化している様子を目の当たりにし、大変感慨深く感じました。

この視察を通して、事業規模の違いはあれど、自身の業務に還元できる知見が多く、大変有意義な研修となったと思います。最後になりますが、ご多忙の中ご対応いただいた各施設管理者の皆様、そして貴重な機会を設けていただいた福岡県河川協会の皆様に心より感謝申し上げます。

【占部川遊水地の現地説明】

【菱池遊水地の上部利用について】

令和7年度 河川事業現地研修会に参加して

苅田町　建設課　主任技師　清水 壮馬

令和7年11月20日から21日にかけて開催された「令和7年度河川事業現地研修会」に参加し愛知県岡崎市、幸田町及び三重県桑名市を視察しました。1日目は、平成20年8月末豪雨にて大規模な河川氾濫が発生した愛知県の広田川において、浸水対策として整備を行っている遊水地を視察し、2日目は、三重県の長良川において治水及び利水の役割を果たす長良川河口堰を視察しました。

2日間にわたり、普段見ることができない施設を見学することができ貴重な経験となりました。本稿では2日間の中でも特に印象に残った菱池遊水地について報告させていただきます。

広田川流域では、市街地が進むなどの土地利用の変化により河川の流出量が増大し、水害の危険性が高まっています。このことから河川改修に加えて、下流部の洪水の負担を軽減させる目的で菱池遊水地の整備が大規模特定河川事業にて進められております。遊水地が整備されると、平成20年度8月末豪雨（降水量146.5mm/時間）の時のような災害でも、河川の水位を1.2mほど低下させることが可能となり、浸水被害を低減させることができます。全体事業費は57億5千万円、事業期間は令和元年から令和8年までで面積は24ha（バンテリンドームナゴヤ5個分）、貯水量は654,000㎥となっています。現在の工事状況としては周囲堤の築堤工や地盤改良工を行っている段階であり順調に進んでいるようでした。

また、この遊水地は広大な面積を有することから平常時の上部空間の活用について地域のニーズを踏まえ、カーボンニュートラルゾーン、公園ゾーン、自然環境ゾーンの3つのゾーンに区分して効果的な活用を図っていく計画です。

愛知県の方から説明をうけ、まず事業規模と整備効果の大きさに驚きました。この遊水地が完成すれば、下流域の人々の生活を守るだけでなく、地域の魅力を高めさらなる発展を図ることが期待できると感じました。近年大雨による被害により毎年のように大規模な河川氾濫や浸水被害が発生していることもあり、河川事業の重要性を再認識させられました。

今回の視察では2日間にわたり、普段見ることのできない施設を見学することができ大変貴重な経験となりました。大雨による浸水対策については、どの自治体でも今後さらに重要になってくると考えられるため、今回の視察は大変有意義な時間となりました。

最後に、多忙な業務な中、対応していただいた関係者の皆様と、今回の視察の機会を設けてくださった福岡県河川協会の皆様に感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

【菱池遊水地現場状況】

【菱池遊水地位置図】

川の思い出

原稿が間に合わず紙面に穴が開きそうなため、慌てて過去の機関誌「かわ」を参考にできないかと眺めていたら、1998年（平成10年）頃に「川の想い出」というコーナーがあったことを見つけました。そこで勝手に復活？して、書いてみました。つたない文章ですいません。

久留米市在住　植村

私が生まれ育ったところは、柳川市内の一級河川矢部川水系塩塚川の河口近くです。この川は有明海に注ぐ川の特徴である１日に２回の満潮と干潮では、様子が大きく変わります。満潮時に水面に浮かんでいた船が、干潮時は干潟に乗り上げてしまいます。その周辺ではムツゴロウやトビハゼもよく見ることができました。潮が満ちてくると濁った水が川を逆流する姿を見ることもできました。この地域は海苔養殖が盛んで、冬の早朝まだ真っ暗な中、海苔を摘むため、次々に出港する数十台の漁船のエンジン音の響きが耳に残っています。

子供の頃は、川岸にある漁港に係留中の漁船が遊び場の一つで、揺れる船から船へと飛び移るのが楽しく、友達と鬼ごっこや探検をしていました。今なら苦情が出たりお叱りを受けるところでしょうが、まだおおらかな時代だったのでしょうか。60年近くたった今でも残る傷跡を見ると、その頃のことがよみがえってきます。

塩塚川（満潮時の様子）

塩塚川（干潮時の様子）

今は久留米市内の一級河川筑後川の中流域近くに30年以上住んでおり、川沿いの堤防道路をよく利用します。子供の頃と違い、上流から下流へゆっくりと流れる大きな川を眺めることができますし、菜の花や、桜並木もきれいです。河川敷には遊歩道や公園が整備されており、私を含め散歩やジョギングをする人、家族連れなどで賑わいます。さらにグランドでは野球やサッカーの試合で大きな歓声が上がります。我が家の息子たちがまだ子供の頃に、全国的にも有名な花火大会を見たり、野球やサッカーをしたこともいい思い出です。

話は変わりますが、近年の気候変動に伴う集中豪雨で、筑後川の支川では氾濫が起こったり、我が家の前の市道も20cm以上冠水したことがありました。現在、支川も含めて河川整備や流域治水が進められていることから、今後効果が表れることを期待しています。

筑後川（河川敷公園）

筑後川（国道３号線付近）

最後に、このコーナーが継続できるかどうかは皆さんから原稿が寄せられるかにかかっていますので、我こそはと思った方は、事務局へご一報をお願いします。

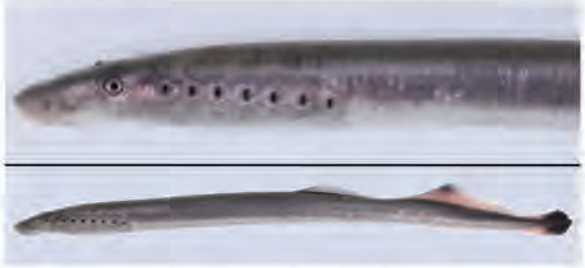
ふくおかの身近な川といきものを知ろう！

日比野（ひびの）友亮（ゆうすけ）

幻となったふくおかの魚：カワヤツメ　カジカ中卵型　ニホンイトヨ

福岡県では2024年度に絶滅のおそれのある生物のリスト、レッドリストを改訂し、その詳細を記したレッドデータブックが刊行されました。レッドデータブックの刊行は3回目となりますが、表紙には過去の改訂作業に伴って、掲載種数が次第に増加してきたことを示す数字がデザインされています。魚類については計109種・亜種が掲載され、このうちの絶滅危惧種（I類とII類の合計値）は43です。福岡県は魚類について、絶滅種に2種、野生絶滅種に1種を挙げています。野生絶滅にカテゴリされているのはサケで、現在も2、3年に一度程度県内の河川に遡上がみられますが、繁殖にはつながっていないようです。絶滅種とされるのはカワヤツメとカジカ中卵型です。

カワヤツメはヤツメウナギ目に属する魚です。福岡県内の河川や一部の水路にみられるミナミスナヤツメ（旧スナヤツメ南方種）は大きくても全長25 cm程度までしか成長しませんが、カワヤツメは最大で60 cmを超えます。眼の後ろに7対の鰓孔があり、これらを”目”に見立て本物の眼と合わせてヤツメ（八つ目）と呼ばれています。石川県以北の一部の河川では漁業対象種となっており、産卵のために海から遡上するものを筌や定置網、鉤などで捕えます。ヤツメウナギ目の魚はすべてアンモシーテスと呼ばれる眼のない幼生期をもちます。カワヤツメの幼生は河川の中・下流の泥っぽい場所に潜って、泥の中の有機物を食べて過ごします。ある程度成長すると変態を経て眼が現れ、海での生活を始めます。福岡県では、1970年代まではシロウオの簗の魚取籠に十数匹がまとめて入ることがあり、1983年3月28日には室見川で全長28 cmの個体が採集された例があります。この個体は九州大学に持ち込まれ、標本にされたそうですが、残念ながらすでに失われています。他にも、1980年代に若松区で複数の聞き取り事例があることや、昭和28年に発行された有明海産魚貝類標本目録には、昭和9年4月に有明海で採集されたカワヤツメ（ただしヤツメウナギとして）が採録されていることから、かつては福岡県内でも少なからぬ頻度で見られたと考えられます。



北海道産カワヤツメ
（尾山大知氏撮影；東京大学総合研究博物館蔵）

カジカ中卵型は淡水性のカジカのうちの1型です。淡水性のカジカは、卵の大きさと生活史のちがいによって、大卵型、中卵型、小卵型の3型に区分され、それぞれ遺伝的にも区別できることが分かっています。福岡県を含む九州の”大卵型”は、本州のものとは異なり中卵型と同じミトコンドリアDNAをもつのですが、ここでは便宜的に従来通り、大卵型として扱います。

福岡県には元々、大卵型と中卵型の2型が生息していました。大卵型は河川の上流域で一生を過ごすのに対し、中卵型は孵化したあと川の河口～海に流れ下り、2から3週間を経て着底したあと、再び河川に遡上します。このため堰堤による遡上障害の影響を大きく受けます。大卵型に比べてやや下流側に生息することも生活史上の特性です。形はきわめてよく似ていますが、

九州大学に残されているカジカ中卵型の標本（室見川水系産）

大卵型に比べ胸鰭の軟条数が多い傾向にあります。カジカ中卵型はもともと、九州の広い範囲に分布していたと考えられていますが、現在では多くの地域で絶滅しています。福岡県については玄界灘側（室見川）と、有明海側（矢部川水系）、そして周防灘側（今川水系）で得られた標本が現存しますが、いずれも採集されたのは1950 ～ 60年代です。九州大学にはシロウオの簗で漁獲された魚類の標本が断片的に残されていますが、この中には繁殖期末のカジカ中卵型と、まだ遡上してまもない成長段階（おそらく孵化後2ヶ月程度）の幼魚の標本が含まれています。一方で、1980年頃の室見川汽水域で行われた魚類調査の標本群に本種は含まれておらず、その前後に出版された文献中にも出現しません。このことから、この頃にはすでに室見川では絶滅状態にあったと考えられます。

絶滅種にはランク付けされていませんが、ニホンイトヨについても過去30年以上見つかっていません。本種は主に内湾や潮だまりなどの沿岸域で生活し、春に河川を遡上して河川敷の湿地や水路などの流れのない、もしくはゆるやかな環境に侵入し、繁殖します。ここまで挙げた3種に共通するのは、「遡河回遊」という回遊生態です。いずれの種についても繁殖は淡水から汽水域で行われ、成長の場はカワヤツメとニホンイトヨではほとんどの時期が海、カジカ中卵型の場合にはほとんどが川、というちがいがあります。繁殖の場所についても、河川の下流域（汽水域の上端部付近）、河川中流部、そして水路や湖沼、湿地が中心というちがいがあります。しかし、共通しているのは「海から川（淡水域）へと移動できる条件を満たせなければ、生涯を全うできない」という点です。日本国内の水辺は、もともと海から川、川から水路、水路から湿地へという連続性を持っていました。こうした下手側から見た連続性は次第に失われ、彼らの生息を不可能にしてしまいました。

東北地方産ニホンイトヨ（九州大学蔵）

アユを中心に設計された階段式魚道では遊泳力の弱い魚は遡上を阻まれてしまう

彼らの生息を不可能にした理由は他にもありそうです。カワヤツメの場合、初期の成長の場として下流域に泥っぽいぬかるみが必要で、実際に石川県などではこうした場所の保全・創出が行われていますが、こうした環境は過度な浚渫行為によって失われがちです。カジカ中卵型であれば、下流域に産卵に利用する石が必要ですが、今の室見川ではシロウオも減るほどに石の供給が絶たれ、砂ばかりになっています。ニホンイトヨの場合、巣づくりのための巣材が確保できるエコトーンが必要になりますが、二面に単純な護岸を施してしまうと巣をつくることはかなり難しくなります。このように、回遊性の阻害と繁殖・成育の場の破壊の双方が、現在の状況につながったものと推測されます。

残念ながら一度は絶滅していまいましたが、遡河回遊性の魚である以上、今後も海を通じて偶然県内に来遊する可能性があります。その時、その場に生息を可能にする条件が整っていれば、絶滅というランクを脱することができるかもしれません。実際に、カジカ中卵型は最近矢部川で少数個体が発見されており、これらは有明海に流入する他県の生息河川に由来する卵や仔魚が偶発的に輸送されたものと思われます。

佐賀県で今も生き残るカジカ中卵型（2026年撮影）

日比野 友亮（ひびの ゆうすけ）
－ YUSUKE HIBINO －

●北九州市立自然史・歴史博物館　学芸員　●九州大学総合研究博物館　協力研究員　●日本魚類学会　編集委員
主な著書／■魚類　福岡県の希少野生生物－福岡県レッドデータブック2024（2025）
■緑の火山島 口永良部島の魚類図鑑（2017）（共編）

筑後川水系巨瀬川等の「特定都市河川」指定！

福岡県では、平成29年7月九州北部豪雨以降、大雨特別警報が全国最多の6回発表されており、毎年のように水害が発生しています。
久留米市、うきは市を流れる筑後川水系巨瀬川等の計9河川において、令和7年12月23日に、国が「特定都市河川」に指定しました。
指定後、流域のハード整備の促進に加え、土地利用規制が強化されます。
引き続き、流域内のあらゆる関係者が協働する「流域治水」を推進し、水害に強いまちを目指します。

巨瀬川の浸水被害（令和5年7月）

※福岡県では、特定都市河川の指定に関する情報をホームページに掲載しています。

【公益社団法人　全国防災協会　防災セミナー】

令和8年2月17日（火）に令和7年度防災セミナーが開催され、河川協会事務局が出席しました。防災対策等について学識経験者等専門家や関係省庁担当者等の方々の講義を受けました。

令和８年度災害復旧事業に係る研修及び講習会予定一覧

研修・講習会名	日程 / 会場	主　催
（第1回） 福岡県災害復旧実務講習会	令和8年4月24日（金） 福岡県中小企業振興センター	福岡県河川協会
災害復旧事業ブロック講習会	令和8年5月中旬 北九州・筑豊・福岡・筑後北部・筑後南部の各庁舎を巡回し開催する予定	福岡県県土整備部 河川管理課 道路維持課
令和8年度 災害復旧実務講習会	令和8年5月18日（月）～19日（火） 砂防会館別館（シェーンバッハ・サボー）	（公社） 全国防災協会
災害復旧実務研修	令和8年5月19日（火）～20日（水） 福岡県建設技術情報センター	（公財）福岡県建設 技術情報センター
（第2回） 福岡県災害復旧実務講習会	令和8年12月下旬 【令和7年度実績：12月22日】	福岡県河川協会

※　いずれの研修も、県内市町村及び県土整備事務所の災害復旧事業担当者を対象としています。

編集後記

令和8年度が始まりました。春は出会いの季節、ワクワクドキドキしますね。まもなく出水期といわれる雨の時期がやってきます。備えあれば憂いなし、もしものときの避難場所や経路の確認はお早めに。

（植村・北川）

◆ STAFF
発行・編集　福岡県河川協会（福岡県県土整備部河川管理課内）
〒812-8577　福岡市博多区東公園7-7
TEL：092-633-2826（直通）
FAX：092-643-3669
企　　画　大商印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ
https://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/